

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和2年度 文化・教養専門課程（日本語学科1年課程）														
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	担当教員	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
専門	日本語の運用基礎能力を習得する	1	前期	専門	○		総合日本語 I A		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。	330	22	○		
		1	後期	専門	○		総合日本語 I B		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	330	22	○		
	日本語学習サポート	1	前期	専門		○	初級作文 I A		総合日本語 I Aと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を上げる	30	2	○		
		1	後期	専門		○	初級作文 I B		総合日本語 I Bと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を上げる	30	2	○		
		1	前期	専門		○	漢字トレーニング I A		基礎漢字600字をマスターする。	30	2	○		
	異文化適応に必要な日本語能力を習得する。	1	前期	専門		○	生活日本語 I A		日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	30	2	○		
		1	後期	専門		○	生活日本語 I B		日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	30	2	○		
合計									7 科目	810 単位時間	(54 単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：800時間履修 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週

科目名	総合日本語 I A						学期	前 期	
担当教員	林 宏美 鍛冶田 芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	22
学習目的	初級レベルの日本語能力を身につける								
授業内容	日本語初級の会話、文法を学ぶ								
学習目標	初級の文法、表現を使って会話ができるようになる								
使用テキスト	みんなの日本語初級 I・II、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ひらがな、カタカナ、生活会話、みんなの日本語初級 I 第1課～4課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
2	みんなの日本語初級 I 第5課～7課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
3	みんなの日本語初級 I 第8課～10課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
4	みんなの日本語初級 I 第11課～13課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
5	みんなの日本語初級 I 第14課～15課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
6	みんなの日本語初級 I 第16課～17課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
7	みんなの日本語初級 I 第18課～20課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
8	みんなの日本語初級 I 第21課～22課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
9	みんなの日本語初級 I 第23課～24課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
10	みんなの日本語初級 I 第25課、みんなの日本語初級 II 第26課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
11	みんなの日本語初級 II 第27課～28課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
12	みんなの日本語初級 II 第29課～30課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
13	みんなの日本語初級 II 第31課～32課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
14	みんなの日本語初級 II 第33課～34課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
15	みんなの日本語初級 II 第35課～36課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題 30 %		提出状況、完成度、丁寧さ						
	2. 授業姿勢 30 %		出席率、授業中の態度(参加度、積極性)、忘れ物の有無						
	3. テストその他 40 %		定期テストの結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	総合日本語 I B						学期	後 期	
担当教員	林 宏美 鍛冶田 芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	22
学習目的	初級レベルの日本語能力を身につける								
授業内容	日本語初級の会話、文法を学ぶ								
学習目標	初級の文法、表現を使って会話ができるようになる								
使用テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク、はじめよう日本語初級Ⅰ・Ⅱ、ドリルと文法								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	みんなの日本語初級Ⅱ 第37課～38課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
2	みんなの日本語初級Ⅱ 第39課～40課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
3	みんなの日本語初級Ⅱ 第41課～42課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
4	みんなの日本語初級Ⅱ 第43課～44課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
5	みんなの日本語初級Ⅱ 第45課～46課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
6	みんなの日本語初級Ⅱ 第47課～48課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
7	みんなの日本語初級Ⅱ 第49課～50課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
8	はじめよう日本語初級Ⅰ 第7課～8課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
9	はじめよう日本語初級Ⅰ 第9課～10課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
10	はじめよう日本語初級Ⅰ 第11課～12課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
11	はじめよう日本語初級Ⅱ 第13課～14課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
12	はじめよう日本語初級Ⅱ 第15課～16課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
13	はじめよう日本語初級Ⅱ 第17課～18課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
14	はじめよう日本語初級Ⅱ 第19課～20課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
15	はじめよう日本語初級Ⅱ 第21課～22課	【事前】	単語						
		【事後】	ドリル						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	提出状況、完成度、丁寧さ							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率、授業中の態度(参加度、積極性)、忘れ物の有無							
	3. テストその他 40 %	定期テストの結果							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	初級作文 I A					学期	前 期		
担当教員	石崎 美恵子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	既習の語彙や文型を使用し身近なテーマについて、学習者が自らが、全体構成や記述内容を工夫した作文を書く技能を身に付ける。								
授業内容	構成をフローチャート、モデル文により理解し、学習者同士の話し合いを通して、イメージを明確にし意欲的にテーマに沿った作文を書く。								
学習目標	既習の語彙や文型を的確に使用し、テーマに即した構成や内容を工夫した400字程度の作文を書くことができる。								
使用テキスト	みんなの作文(総合日本語のテキスト「みんなの日本語」に準拠したテキスト)								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	作文を書くための基礎として、日本語の文字構成である五十音を知り、平仮名や片仮名の正確な表記(書き順や形)を理解し、練習をする。	【事前】	「みんなの日本語」の巻頭にある五十音を読む。						
		【事後】	平仮名、片仮名プリントを反復練習し正しい表記で書く。						
2	ユニット1 テーマ「自己紹介」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(省略;同じ言葉の羅列をしない)を理解し書く。	【事前】	ユニット1のモデル文を読み、自己紹介の内容を理解する。						
		【事後】	全体の構成を考え自身の「自己紹介」文の内容をメモする。						
3	ユニット1 「作文メモ」を用い、ペアワークやグループワークで読み合い検討する。作文メモを基に「自己紹介」作文を書く。	【事前】	「作文メモ」を書く。						
		【事後】	自分の似顔絵を描いたり写真を貼ったりして教室に掲示し互いの交流の場とする。						
4	ユニット2 テーマ「わたしの部屋」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(語彙の連鎖;語彙をつなげまとまりある文にする)を理解する。	【事前】	ユニット2のモデル文を読み、作文の材料を決めておく。						
		【事後】	構成や文法項目を踏まえ「私の部屋」の作文の概略を書く。						
5	ユニット2 「作文メモ」を用い、部屋にあるいくつかの物を関連付けて記述する。ペアで読み合い、相手の部屋のイメージが描けか、検討し合う。作文メモを基に「私の部屋」の作文を書く。	【事前】	「作文メモ」に沿って記し、作文の内容を明確にする。						
		【事後】	グループ内で口頭発表を聞き合い、他の作文のよさについて伝え合う。						
6	ユニット3 テーマ「私の国・町」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(取り立ての『は』;多くの項目から1つに焦点化する)を理解する。	【事前】	自分の国や町の地図上の位置、首都の様子、人口等を調べておく。						
		【事後】	構成や文法項目を踏まえ「私の国・町」の作文の概略を書く。						
7	ユニット3 「作文メモ」を用い、国や町について記述したい項目にメモをしグループで確認し合う。作文メモを基に「私の国・町」について作文を書く。	【事前】	「作文メモ」に沿って記し、作文の内容を明確にする。						
		【事後】	地図や写真を貼り教室に掲示したり発表をしたりして互いの国や町を紹介し合う。						
8	ユニット3 テーマ「私の家族」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(2文を1文にする。;『て形』や『な形容詞』を使用し接続する 等)を理解する。	【事前】	ユニット4のモデル文を読み、内容や全体構成に着目する。						
		【事後】	「私の家族」の作文の概略を書く。家族について描きたくないときは架空の家族としてもいいことを伝える。						
9	ユニット4 「作文メモ」を用い、家族について記述したい項目にメモをしグループで確認し合う。作文メモを基に「私の国・町」について作文を書く。	【事前】	「作文メモ」に沿って記し、作文の内容を明確にする。						
		【事後】	教室内に掲示し紹介し合う。						
10	ユニット5 テーマ「週末」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(文脈指示。;作文の具体的な場所の指示語を文脈に沿って正確に表現する)を理解する。	【事前】	ユニット5のモデル文を読み、内容や全体構成に着目する。						
		【事後】	構成や文法項目を踏まえ「週末」の作文の概略を書く。						
11	ユニット5 「作文メモ」や時間軸に沿ってしたことや思いについて、グループワークを行い、話し合いながら、自分の作文の概略を考える。作文メモや話し合いを基に「週末」についての作文を書く。	【事前】	週末にしたことを想起し時間軸に沿って、作文の概略を考える。						
		【事後】	イラスト等で週末の様子をより明確にし、グループ内での互いに紹介し合う。						
12	ユニット6 テーマ「はがき」のフローチャートでは、3段階の展開で応用して書くことを理解する。(旅先で出すはがき、お礼状、友達への近況報告)「手紙の形式と表現」を用い、手紙の宛名の書き方、及び関連語彙(追伸、～を同封します等)について理解する。	【事前】	ユニット6のモデル文を読み、内容や全体構成に着目する。						
		【事後】	手紙の宛名の書き方や内容の概略を書く。						
13	ユニット6 テーマ「はがき」の書き方に沿って、実際にはがきを書く。	【事前】	手紙の形式と表現を確認する。						
		【事後】	グループ内で読み合い、互いの手紙のよさを伝え合う。						
14	ユニット7 「プレゼント」のフローチャート、モデル文を読み、作文の構成を理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(『～に～があります』や『～は～です』の叙述の仕方等)を理解する。「作文メモ」や話し合いを通して、テーマ「旅行」についての書く。	【事前】	今までにもらったプレゼントの中で心に残るプレゼントを想起する。						
		【事後】	グループ内で発表しプレゼントをもらった時の驚きや喜びを紹介し合う。						
15	ユニット8 「旅行」のフローチャート、モデル文を読み、作文の構成を理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(順序や手順を表す接続語等)を理解する。「作文メモ」や話し合いを通して、テーマ「旅行」についての書く。	【事前】	これまでの旅行から作文にしたい旅行先を想起する。						
		【事後】	教室に掲示し互いの旅行先の楽しさを交流し合う。						
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	50 %	記述内容の充実度、完成度、構成の一貫性や的確度 語彙や文法の正確度						
	2. 授業姿勢	30 %	作文への集中度、個性的な表現や記述内容への意欲、提出状況						
	3. テストその他	20 %	既習語彙や文法事項の適切な使用状況、漢字表記の有効且つ適切な活用						
目標検定・課外授業実施予定・その他	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 日本語能力試験(7月、12月)								

科目名	初級作文ⅠB					学期	後	期	期
担当教員	鍛治田 芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	日本語でまとまりのある文、構成を意識した作文を書くスキルを身につける								
授業内容	モデル文を理解し、これを参考にしながら早い段階から、毎回一つのテーマについて作文を書く。								
学習目標	既習の語彙や文型を正しく使い、構成に注意して、あるテーマについて400字程度の作文が書けるようになること								
使用テキスト	やさしい作文								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	ユニット9 もし私が二人いたら				【事前】	ユニット9 もし私が二人いたら モデル文を読んてくる			
					【事後】	「もし私が二人いたら」作文			
1	ユニット10 趣味				【事前】	ユニット10 趣味 モデル文を読んてくる			
					【事後】	「趣味」作文			
1	ユニット11 楽しい1日				【事前】	ユニット11 楽しい1日 モデル文を読んてくる			
					【事後】	「楽しい1日」作文			
1	ユニット12 日本でびっくりしたこと				【事前】	ユニット12 日本でびっくりしたこと モデル文を読んてくる			
					【事後】	「日本でびっくりした」作文			
1	ユニット13 私の夢				【事前】	ユニット13 私の夢 モデル文を読んてくる			
					【事後】	「私の夢」作文			
2	ユニット14 隣の人にひとこと				【事前】	ユニット14 隣の人にひとこと モデル文を読んてくる			
					【事後】	「隣の人にひとこと」作文			
2	ユニット16 ごみ 国との比較				【事前】	ユニット16 ごみ 国との比較 モデル文を読んてくる			
					【事後】	「ごみ 国との比較」作文			
2	ユニット17 交通 国との比較				【事前】	ユニット17 交通 国との比較 モデル文を読んてくる			
					【事後】	「交通 国との比較」作文			
2	ユニット18 スマートフォン				【事前】	ユニット18 スマートフォン モデル文を読んてくる			
					【事後】	ユニット18 スマートフォン			
2	年賀状				【事前】				
					【事後】	年賀状を書く			
3	ユニット19 私の周りの最近のニュース				【事前】	ユニット19 私の周りの最近のニュース モデル文を読んてくる			
					【事後】	「私の周りの最近のニュース」作文			
3	ユニット20 私の国の有名な人				【事前】	ユニット20 私の国の有名な人 モデル文を読んてくる			
					【事後】	「私の国の有名な人」作文			
3	テーマ作文				【事前】				
					【事後】	テーマ作文の下書き			
3	原稿用紙の使い方				【事前】	「テーマ作文」を見直してくる			
					【事後】	原稿用紙に「テーマ作文」を書いてくる			
3	テーマ作文の発表				【事前】	「テーマ作文」の発表の練習			
					【事後】				
	評価項目/割合				評価内容				
評価基準	1. 課題 50%				提出状況 完成度 ていねいさ				
	2. 授業姿勢 30%				出席率 授業中の態度(参加度 積極性)				
	3. テストその他 20%				発表の結果				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験 日本留学試験・記述								

科目名	漢字トレーニング I A					学期	前	期	
担当教員	鍛治田 芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎漢字をマスター、日本語の理解を促進する。								
授業内容	練習問題を中心に毎回ユニット一つ分の漢字を覚える。								
学習目標	基礎漢字の読み書きを覚える。								
使用テキスト	みんなの日本語 初級 I 漢字 英語版、ベトナム語版 みんなの日本語 初級 I 漢字練習帳								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	ユニット1	【事前】	ユニット1の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット2の単語意味調べ		
1	ユニット2	【事前】	ユニット2の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット3の単語意味調べ		
1	ユニット3	【事前】	ユニット3の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット4の単語意味調べ		
1	ユニット4	【事前】	ユニット4の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット5の単語意味調べ		
1	ユニット5	【事前】	ユニット5の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット6の単語意味調べ		
2	ユニット6	【事前】	ユニット6の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット7の単語意味調べ		
2	ユニット7	【事前】	ユニット7の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット8の単語意味調べ		
2	ユニット8	【事前】	ユニット8の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット9の単語意味調べ		
2	ユニット9	【事前】	ユニット9の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット10の単語意味調べ		
2	ユニット10	【事前】	ユニット10の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット11の単語意味調べ		
3	ユニット11	【事前】	ユニット11の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット12の単語意味調べ		
3	ユニット12	【事前】	ユニット12の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット13の単語意味調べ		
3	ユニット13	【事前】	ユニット13の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット14の単語意味調べ		
3	ユニット14	【事前】	ユニット14の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事前】	ユニット15の単語意味調べ		
3	ユニット15	【事前】	ユニット15の単語意味調べ			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習						
評価項目/割合		評価内容							
評価基準	1. 課題	40 %	課題の提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度						
	3. テストその他	30 %	確認テスト、復習テスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	生活日本語 I A					学期	前 期
担当教員	熊木 あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。						
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。また介護の業界、職業について解説する。						
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。介護業界、職業を理解する。						
使用テキスト	なし(適宜プリントなど)						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	生活指導(アパート生活、ゴミ出しなど)	【事前】					
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる				
2	生活指導(金銭管理、アルバイト)	【事前】					
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる				
3	生活指導(交通、医療)	【事前】					
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる				
4	将来設計、目標設定	【事前】					
		【事後】	人生設計シートをまとめてくる				
5	進学、受験について	【事前】					
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる				
6	業界理解	【事前】	日本の高齢社会について調べてくる				
		【事後】	わかったことをノートにまとめる				
7	職業理解	【事前】	介護の仕事について調べてくる				
		【事後】	わかったことをにまとめる				
8	職業理解(施設見学)	【事前】	リーフレットを読んでくる				
		【事後】	感想を書く、礼状を書く				
9	見学後の意見交換会、翌週と翌々週の準備(卒業生や現場職員への質問準備)	【事前】	見学後の感想を話せるようにまとめておく				
		【事後】	質問をまとめてくる				
10	進学指導(卒業生の話をきく)	【事前】	質問事項を準備してくる				
		【事後】	わかったことをノートにまとめる				
11	職業理解(現場職員の話をきく)	【事前】	質問事項を準備してくる				
		【事後】	わかったことをノートにまとめる				
12	職業理解(9~11週のまとめ)	【事前】	9から11週に学んだことをまとめておく				
		【事後】	グループごとに模造紙にまとめる				
13	職業理解(次週の交流会の準備)	【事前】	交流会の活動の準備をする				
		【事後】	交流会の活動準備				
14	職業理解(施設にて交流会)	【事前】	交流会の活動準備				
		【事後】	礼状を書く				
15	夏休みの過ごし方について	【事前】					
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる				
評価基準	評価項目/割合		評価内容				
	1. 課題	30%	課題や各種書類の提出状況				
	2. 授業姿勢	30%	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無				
	3. テストその	40%	学内外の各種行事や活動への参加状況				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	介護施設の見学、交流						

科目名	生活日本語 I B					学期	後 期
担当教員	熊木 あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択
学習目的	介護職への理解を深め、進学への意識を高めて、将来的な日本での生活設計をする。						
授業内容	介護の業界、職業について学ぶ。また受験、進学のための準備を行う。						
学習目標	介護業界、職業の実際を理解する。専門学校、短期大学の出願書類を記入し、面接試験でしっかりと受け答えができ、志望校に合格する！						
使用テキスト	なし(適宜プリントなど)						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	学園祭準備	【事前】					
		【事後】					
2	進学先都道府県について調べる	【事前】	進学先を地理的に確認してくる				
		【事後】	わかったことをノートにまとめる				
3	専門学校、短期大学の募集要項の見方	【事前】	要項、書類準備				
		【事後】	重要単語をノートに練習				
4	出願書類を書く	【事前】	書く内容を考えてくる				
		【事後】	書類を完成させる				
5	志望理由書を書く	【事前】	志望理由を考えてくる				
		【事後】	理由書を完成させる				
6	施設交流会の準備	【事前】	活動内容を考えてくる				
		【事後】	交流会準備				
7	施設交流会	【事前】	交流会準備				
		【事後】	礼状を書く				
8	交流会のまとめ、意見交換会	【事前】	感想、意見をまとめてくる				
		【事後】	レポートをまとめる				
9	面接問答プリントを書く	【事前】	質問の意味を調べてくる				
		【事後】	授業でできなかった項目を書いてくる(鉛筆で)				
10	面接問答プリントを書く	【事前】	すべて鉛筆書きしてくる				
		【事後】	問答集プリントの清書				
11	面接練習	【事前】	問答プリントに書いたことを覚えてくる				
		【事後】	できなかったところを覚えてくる				
12	面接練習	【事前】	問答プリントに書いたことを覚えてくる				
		【事後】	できなかったところを覚えてくる				
13	面接練習	【事前】	問答プリントに書いたことを覚えてくる				
		【事後】	できなかったところを覚えてくる				
14	卒業成果発表準備(交流会報告?)	【事前】	発表の内容をグループごとに考える				
		【事後】	発表の内容をグループごとにまとめる				
15	卒業成果発表準備	【事前】	スラスラ言えるように練習してくる				
		【事後】	何も見ずに言えるよう練習してくる				
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 30%	課題や各種書類の提出状況					
	2. 授業姿勢 30%	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無					
	3. テストその 40%	学内外の各種行事や活動への参加状況					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定・その他	介護施設の見学、交流 専門学校、短期大学受験						